

# 令和元年度第1回学校運営協議会の実施報告書

---

学校名

岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校

校長 土井 充行

所在地

岐阜市芥見南山 3-11-1 電話 058-243-0710

---

1 協議会の名称 岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校運営協議会

2 協議会の構成委員

清水達郎	芥見南自治会連合会 会長
伊藤知子	株式会社十八楼 女将
五十川勝也	芥見東身体障害者福祉協会 会長
大倉美江	すまいる工房株式会社 代表取締役
佐々木ひなゑ	芥見東自治会連合会 会計
林 武	岐阜県老人福祉施設協議会 副会長
土屋明之	岐阜県教育文化財団 障がい者芸術文化支援支援センター長
高橋貴美子	岐阜清流高等特別支援学校 PTA 会長

学 校

土井充行	校長
下野誠司	教頭
下野 修	事務長
廣瀬雅行	部主事
横田 真	教務主任
北川百合	進路指導部長
三橋正康	生徒指導部長
吉田 徹	保健安全部長
齋藤 律	研修部長
今枝みどり	支援センター部長
磯村明日香	地域交流部長
長尾健太郎	1 学年主任
伊藤大輔	2 学年主任
各務憲之	3 学年主任

3 協議会の目的 学校運営に関する目標やビジョンを地域住民や保護者、有識者と共有し、幅広く意見を求めるとともに互いに連携・協働し、教育活動の活性化及び地域に開かれた学校づくりを推進しながら、地域や社会に貢献できる担い手となる人材を育成する。

4 協議会の開催 令和元年5月9日(木) 10:00~12:00  
岐阜清流高等特別支援学校 会議室

## 5 協議会の概要

- (1) 校長挨拶
- (2) 学校運営協議会の設置及び運営について
- (3) 委員の任命及び紹介
- (4) 会長及び副会長の選出

会長 土屋明之  
副会長 清水達郎

### (5) 議題

#### ① 学校経営計画及び組織編制について

○学校運営機構：研修・支援センター部を研修部と支援センター部に再編成した。

意見1：昨年度の運営協議会時に提示された資格取得状況を踏まえ、資格取得が就労にどう繋がるかが楽しみである。

意見2：軽度知的障がいのコア・スクール機能を活用した高等学校等への支援の実施とあるが、実際に高等学校からの要請はあるか。

回答→ 先ず、高等学校の担当者に来校していただき、ニーズ等の把握から始めていきたいと考えている。

#### ② 教育課程の編成について

○3学年が揃うことで、喫茶営業を週3日（火・水・金）行う。また、3年生で必須選択の喫茶サービスを選択した生徒が火曜日の営業を担当する。

#### ③ 年間行事計画について

意見3：3学年が揃い、年間行事多い中、実習の調整は大変ではないか。

回答→ 今のところ調整については問題ないが、開拓企業は、全校生徒数に対しては足りていない現状がある。本年度は新たに実習先紹介カードを作成し、保護者及び学校職員に配付し、協力を呼び掛けている。

#### ④ 専門コース製品の価格設定について

○各コース新製品を開発し、生徒の意見を取り入れた製品もある。

意見4：食品コースのメニューの数に驚いている。

携わる生徒達の様子はどうか。

回答→ 特別非常勤講師の協力のもとで可能となっている。

生徒達も楽しみながら学習している。

意見5：食品関係企業への実習はどうか

回答→ 食品関係企業のみならず、福祉施設の厨房でも実習を実施させてもらっている。

## 6 会議のまとめ

- ・会長を土屋明之氏とする。副会長を清水達郎氏とする。
- ・学校運営計画及び組織編制について承認する。
- ・教育課程の編成について承認する。

- ・年間行事計画について承認する。
- ・専門コース製品の価格設定について承認する。

- 卒業後、企業就労し、社会の一員として活躍できる力を着実に身につけるため、実践重視の教育を推進する。
- 初めての卒業生を送り出すに当たり、社会生活上のトラブルやリスクから身を守る教育を重点的に行う。また、地域やP T A等と連携し、学校における危機管理体制を強化する。
- コミュニティ・スクール制度の導入2年目にあたり、地域との交流事業を充実強化する。また、学校から企業に働きかけ、障がい者雇用の推進と処遇向上を図る。